

日本材料学会「コンクリート用骨材部門委員会」

平成 26 年度第 1 回部門委員会議事録（案）

日 時 : 平成 26 年 5 月 28 日 (水) 13:30~17:00
場 所 : 大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス LECTURE A
出席者 : 41 名 (別紙 出席者名簿参照)

配布資料

- No.1 委員長挨拶 (大野委員長)
- No.2 日本材料学会コンクリート用骨材部門委員会規程
- No.3 平成 25 年度事業報告
- No.4 平成 26 年度事業計画
- No.5 部門委員会ホームページ

議 事

1. コンクリート用骨材部門委員会委員長挨拶

大野委員長より新任委員長として挨拶及びコンクリート用骨材委員会発足の経緯とこれまでの活動内容、今後の活動方針について説明があった。

- ・本委員会は昭和 39 年に人工軽量骨材委員会として発足し、昭和 60 年代には骨材全般を研究する委員会に再編成し、活動を継続してきた。
- ・昨年度までの約 18 年間、西林前委員長を中心に活動してきたが、本年度より委員長を交代し、より広い視野に立った新しい骨材の開発、未利用資源の有効利用、各種骨材を用いたコンクリートの最適製造法など、幅広く委員会活動を推進したい。

2. コンクリート用骨材部門委員会規程の改定

大野委員長より、コンクリート用骨材部門委員会規程の改定について説明があった。

- ・具体的には、第 10 条の、委員長及び幹事の任期を 4 年から 2 年に変更した。

3. 委員長及び幹事の体制について

大野委員長、熊野幹事より全幹事の紹介があった。

4. 平成 25 年度事業報告と決算について

熊野幹事より、配布資料 No.3 に基づいて報告があった。

5. 平成 26 年度事業計画と予算について

熊野幹事より、配布資料 No.4 に基づいて説明があった。

6. 部門委員会ホームページの作成について

高井幹事より、配布資料 No.5 に基づいて説明があった。

7. 参加者との意見交流

大野委員長より参加者に意見交流の呼びかけがあった。その中で参加者の碓氏 (花王(株)) より輸入骨材に関する情報公開についての希望があり、委員会では今後検討するとの返答が大野委員長よりあった。

8. 研究討論会

議事に引き続き、3 題の研究討論会が行われた。講演者からの話題提供及び活発な質疑応答が行われた。話題提供内容、質疑応答 (質疑者のみ記載) は以下の通りです。

1) 「複合則理論によるコンクリートの乾燥収縮ひずみの推定」 住友大阪セメント(株) 山田 一徳

質疑者 ・(株)竹中工務店 岩清水氏

・西林前委員長

・中村幹事

2) 「PC上部工と乾燥収縮 ー実物大供試体による測定ー」 (株)ピーエス三菱 小林 仁

質疑者 ・(株)竹中工務店 岩清水氏

・大野委員長

3) 「炭素材料を添加することによるコンクリートの新機能について」 村本建設(株) 高井 伸一郎

質疑者 ・(株)竹中工務店 岩清水氏

・太平洋セメント(株) 後藤氏

・大野委員長

9. 講評

西林前委員長より講評を頂いた。

以上